

水げん通信

サンズ [SONS : Sources of New Streams]

水かおる早良区

“心地よい時間”の流れるまちづくり

第3号 2008年 新春号 玉井てるひろ

〒814-0171 福岡市早良区野芥 3-26-7

TEL.092-405-3000 FAX.092-405-3001

E-mail : ttamai@ray.ocn.ne.jp

URL : http://www.comenu.com

発行者：福岡市議会議員 玉井輝大

今年もスタッフ一同、頑張っています。
どうぞよろしくお願ひ致します。
福岡市議会議員 玉井 輝大



● 水辺から環境を考える～「アジア太平洋水サミット」に参加

昨年、12月2日から4日まで「アジア太平洋水サミット」に参加しました。本会議は12月3日、4日でしたが、11月29日から12月7日まで数多くの水関連イベントが開かれました。

「国際水土里（みどり）フォーラム in 大分」、ビデオですが「開会式」、「国際水田・水環境ネットワークワークショップ」、「生態系と発展のための水」、「金融機関の活動と水問題」、「2009年の世界水フォーラムの会議」、「山根一眞講演会～温暖化クライシスと地球生命」などに参加しました。会場の外ではマスコミに対しての市民団体からの奇抜なアピールもあり、国際会議らしさを彩っていました。

サミットを通して学んだ「9つの重要な考え方」を紹介いたします。1) 市民科学者による自然観察記録の収集システムづく



白川水源（阿蘇）

り。2) 三面コンクリートは生態系を捨てている。3) 水は質だけではなく量も重要。これが「環境水量」。流量を増やしたら大きな鮎が戻ってきた。4) 韓国ソウルでは高速道路、大規模ビルを撤去して川を復活している。それをやったのが新大統領の李明博さん。5) 農林水産業は環境産業、環境美化のエンジン。特に水田復興を。6) 規制、税などを使って農林水産業を環境産業として振興できる仕組みづくり。7) 農林水産業の環境に関する貢献度を金銭的価値にする研究。3) 「生まれた時に木を与えられ一生それを守る」といった伝統的自然管理手法の再評価。8) 環境を守ることで繋がらざるを得ない人たちで、環境のための公的な組織をつくる。9) 「水」に課題を持つ福岡市は「水」から、世界の水環境に貢献するモデル都市を目指す。

● 女性の会スタート

<樁水会>

昨年11月21日、後援会女性部会の「樁水会」が野芥「顕真寺」で第1回目の「語る会」を催しました。

ゲストにジュエリーデザイナー

の川上瑠璃江さんをお招きし、「家族関係・海外生活を通して見えたもの」と題して、各国それぞれの家族のあり方について、体験談を交え語っていただきました。

その後、参加者で円座になり家族関係について意見交換など活発に行い、終了いたしました。

樁水会では、「女性の目で捉えた現状とこれから」をテーマに語る会を企画していきます。皆様のご参加をお待ちしています。

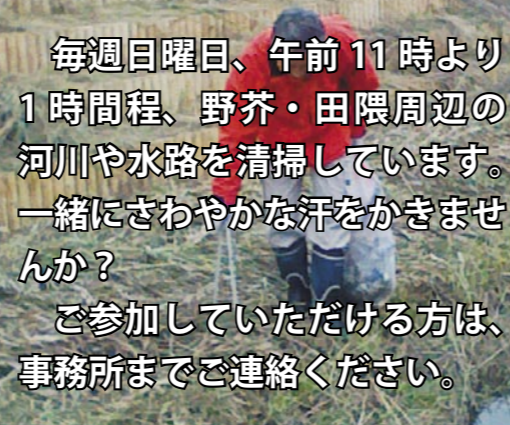


水辺清掃を一緒にしませんか？

毎週日曜日、午前11時より1時間程、野芥・田隈周辺の河川や水路を清掃しています。一緒にさわやかな汗をかきませんか？

ご参加していただける方は、事務所までご連絡ください。

市政相談時間：16時～17時
火・木曜 玉井てるひろ事務所（野芥）
TEL.092-405-3000
月・水・金曜 民主市民クラブ控室（天神）
TEL.092-711-4736



● 心地よい早良街道をめざして

早良街道（国道263号）沿いには街路樹としてケヤキなどが植栽されています。12月頃には葉っぱが道路や、歩道にたくさん落ちて、道路沿いの商店や個人のお宅では、落葉拾いが日課となっています。

「環境美化袋」をご存知ですか？ 早良区役所生活環境課で無料配布されています。取りに行くのが大変だという方は、玉井てるひろ事務所でも配布中です。

また、今年3月の都市高速道路野芥開通にともない、野芥の交通問題が緊急課題となると予想しています。

早良街道沿いにある玉井てるひろ事務所では、地元の方にそのことに気付いていただくために、外壁を利用して交通問題、ひいては心地よい早良街道を目指すために、皆様の意見を集める必要性を訴えております。



(上) 環境美化袋

<地域プロジェクト>



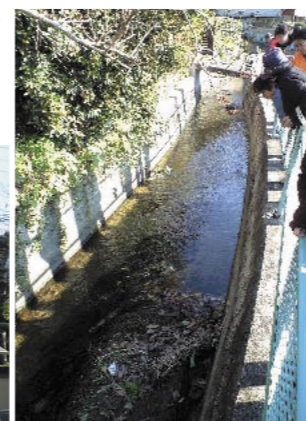
(右) 野芥の交通問題を呼びかける事務所外観

● 樁水路を歩き、歴史と未来に想いを馳せる

<水プロジェクト>

(右) 樁水路を覗き込む

(下) 落ち着いたたたずまいが残る旧早良街道を歩く



昨年12月1日に第2回「水辺を歩こう会」を開始し、地下鉄野芥駅のシンボルマークにもなっている樁水路を約20名の参加者とともに樁井堰から約1.6km歩きました。

樁水路に詳しい熊本宗雄さんや入部公民館館長の永浦義治さんに昔の水路の様子をお話ししていただきました。以前は、農業用水路として田畑を潤す以外に生活用水としても活用されていて、住民の生活に欠かせないものだったようです。

江戸時代に干ばつで苦しんだ農民が井堰、水路をつくり現代も水利組合で管理されている樁水路。歩いてみると昔の面影はあまりありませんが、当時の苦勞と水の大切さを知り、これからも続くであろう水の流れを次の世代に残していくにはどうすればいいのかを思案中です。

● 事務所でクリスマス絵本展

<こどもプロジェクト>

野芥に事務所を構えて1年足らず。地元の方々にも場所を知っていただくために、また市政相談窓口としても利用していただけるように、クリスマスに合わせて絵本展を開催しました。

地元の光の園幼稚園さま、クリーニングやじまや妙見口店さまに絵本の貸出しなどご協力いただきました。おかげさまで、議員事務所とは思えないインテリアとなり、ところ狭しと「クリスマス」「サンタクロース」「家族」「むかしばなし」といったテーマで絵本を約80冊並べ、地域の方々を出迎えることができました。

その後、事務所1階は引き続き絵本を展示し、2階には環境に関する書籍を並べて、新年を迎えております。皆様の気軽なお立ち寄りをお待ちしております。



(上) 絵本の読み聞かせ



(右) 絵本の飾りつけ